

(別紙1) 単元構想図 第1学年 単元名「たのしいあきいっぱい ～たのしいあきの〇〇〇をつくろう～」(全21時間)

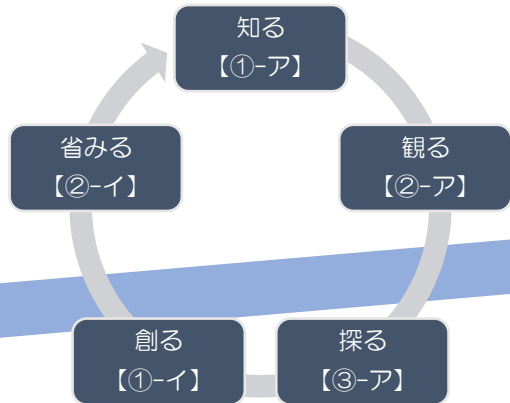
《本質的な問い》

身近にある自然を生かし、生活を楽しくするためには、自分たちにどんなことができるだろう。

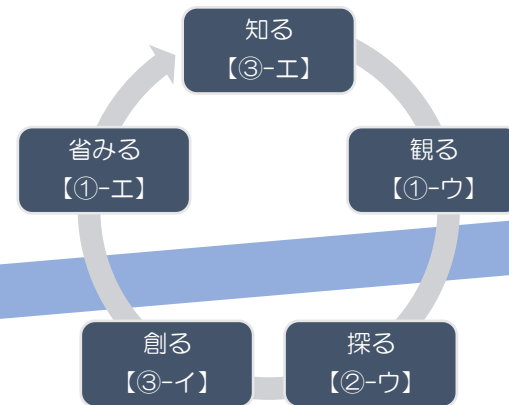
問題

生活を楽しくするために自分の考えを深めたり、深めたりすることが難しい。

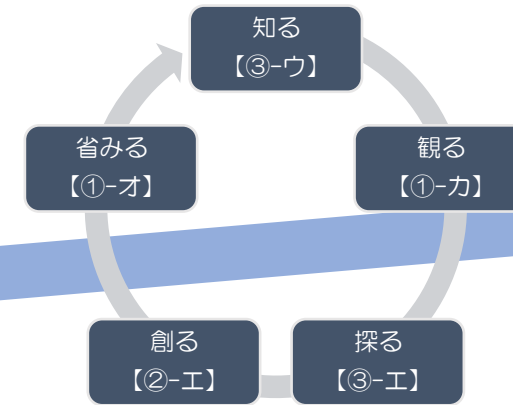
① 秋の自然の様子や特徴、四季の変化や違いについて知り、楽しく遊ぶ方法を考えよう。



② 友達の考えを聞いたり、自分の考えを深めたりして、もっと楽しく遊べる〇〇〇をつくろう。



③ みんな遊べる「たのしいあきの〇〇〇ランド」を開こう。



新たな問いへ

	探究のサイクル1 (7時間)	探究のサイクル2 (7時間)	探究のサイクル3 (7時間)
<b>知る</b> 💡	・校庭や公園に行き、秋の自然の特徴を探して、色や形、においなど、夏の自然の特徴と違うことに気づき、秋のものを使って楽しく遊びたいという思いをもつ。	・つくった制作物を改良しパワーアップすることで、もっと楽しく遊べることに気づかせ、よりよいものをつくりたいという意欲を高める。	・パワーアップした制作物の楽しさや面白さをみんなに伝える方法はないかという思いを持つ。
<b>観る</b> 👁️	・秋の自然物を集めて、つくりたい制作物に使えるか、触ったり、動かしたり、話し合ったりしながら特徴を観察カードにまとめる。	・パワーアップするために改良したい部分を見つけたり、伝えたりする。	・みんなで遊べる「たのしいあきの〇〇〇ランド」の計画を立てる。 ・遊びの進め方や説明、ルールについて考え、グループで準備する。
<b>探る</b> 🔍	・どんなものをつくりたいのかを考え、その方法を調べたり計画を立てたりして、つくりかたカードを書く。 <b>国語「じどう車ずかんをつくろう」</b>	・どんな工夫をしたらよいか話し合ったり、動かして説明したりして、考えをつくりかたカードに記入し交流する。	・自分が試行錯誤して考えた、楽しく遊ぶ方法やコツを伝える。
<b>創る</b> ✂️	・つくりかたカードを元に、材料を試しながら制作物をつくる。	・自分の考えや、交流した意見を参考にして、制作物を改良してつくる。	・つくりかたカードや観察カード、楽しく遊ぶコツカードを1冊にまとめて「たのしいあきの〇〇〇ブック」を完成させる。 <b>国語「じどう車ずかんをつくろう」</b>
<b>省みる</b> 💭	・友だちのつくった制作物を紹介したり、比較することで、もっと楽しい制作物にしたいという意欲を高める。	・これまでの学習を通して、制作物がパワーアップしたことを具体的に振り返り、みんなと遊びたいという思いを持つ。	・これまでの学習を通して、楽しく生活するために大切なことや、できるようになったことを振り返る。 <b>国語「ともだちのこと、しらせよう」</b>